



京浜港湾事務所

工 事 名 横浜港新本牧地区護岸(防波)南側海上地盤改良工事
横浜港新本牧地区護岸(防波)東側海上地盤改良工事
工事内容 横浜港新本牧地区護岸(防波)の整備に向けて、海底地盤を改良します。

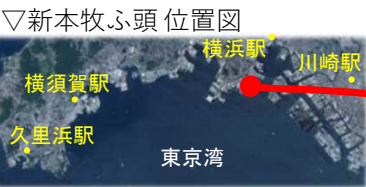
●工事区分 護岸(防波)の地盤改良工事は、下記の2件に分けて進めます。

	工事名	工期	施工会社
南側	横浜港新本牧地区護岸(防波)南側海上地盤改良工事 新本牧ふ頭の南側の護岸を担当。サンドコンパクションパイル約10,500本を施工します。	R2.7.7 ~ R4.3.28	東亜・本間・不動テトラ 特定建設工事共同企業体
東側	横浜港新本牧地区護岸(防波)東側海上地盤改良工事 新本牧ふ頭の東側の護岸を担当。サンドコンパクションパイル約7,000本を施工します。	R2.7.1 ~ R3.12.24	五洋・みらい 特定建設工事共同企業体

●工事の流れ 本工事は、下記のような流れで進めていきます。



横浜港国際海上コンテナターミナル再編整備事業



▽工程表

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
岸壁(水深18m)								
護岸(防波)								
防波堤								
荷さばき地								
道路								

京浜港湾事務所

施工状況

準備工

敷砂工

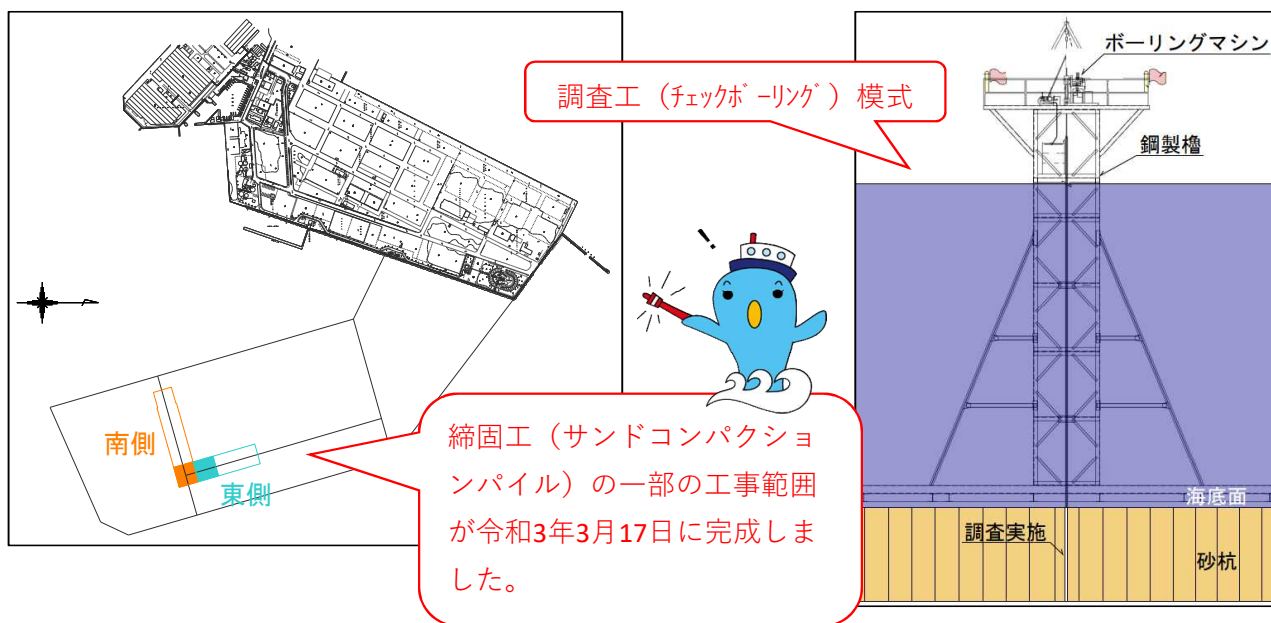
締固工

調査工

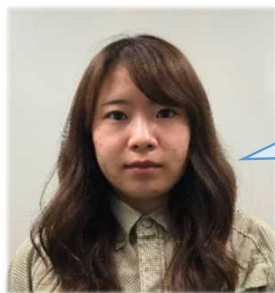
【調査工（チェックボーリング）とは？】

締固工（サンドコンパクションパイル）で形成した砂杭の強度を確認するために実施する調査です。

- ① 鋼製櫓とボーリングマシンを調査する砂杭位置にセットします。
- ② 砂杭天端から2mおきに砂杭下端まで調査を実施し、所定の強度が確保されているかを確認します。



若手技術者紹介



東亜・本間・不動テトラJV
村瀬さん

担当技術者の村瀬です。
作業員の方々の意見を積極的に取り入れ、働きやすい現場環境作りに励み、無事故・無災害での竣工を目指します。

現場担当の青崎です。
周囲とよく話し合い、様々なことを学びながら日々の施工管理を行っています。



五洋・みらいJV
青崎さん